

## 民間競争入札実施事業

## 「H28-31 国営讃岐まんのう公園運営維持管理業務」の実施状況報告

基本方針に基づく標記事業の実施状況は以下のとおり。

## 事業概要等

事項	内容
事業概要	国営讃岐まんのう公園(香川県仲多度郡まんのう町)における運営維持管理業務 本業務全体のマネジメント及び企画立案業務 1) マネジメント 2) 企画運営管理 施設・設備維持管理業務 1) 維持修繕・保守点検 2) 清掃 植物管理業務 収益施設等管理運営業務
実施期間	平成28年4月1日から平成32年1月31日までの 3年10ヶ月間
受託事業者	代表企業：一般財団法人 公園財団 構成企業：香川県造園事業協同組合、 株式会社グリーンパークまんのう
契約金額(税抜)	1,625,000,000円 平成28年度 416,100,000円 平成29年度 417,700,000円 平成30年度 418,700,000円 平成31年度 372,500,000円
入札の状況	1者応札(入札説明書交付者=1者)

事業の目的	本業務は、本公園において、国営公園設置の意義を踏まえ、公園の運営維持管理全般について計画立案を行い、目標及び業務計画を策定し、その一元的管理方針のもとで、利用促進のための行催事や広報宣伝の企画・立案・実施、入園料徴収、巡視・保安警備、公園利用者に対するサービスの提供、利用指導、救急、公園利用者の安全・安心の確保、地域貢献や市民等との協働、他の施設管理者との連携、建物や工作物等公園施設の維持管理、清掃、植物の育成・維持管理、収益施設の運営など多岐にわたる業務を総合的な調整のもと、相互連携を保ち、適切に進捗管理を行いつつ実施するものであり、その効用を最大限発揮させることを目的とする。
選定の経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針への掲載 平成22年度</li> <li>・市場化テスト事業としての実施回数 2回目</li> <li>・新プロセスへの移行 平成28年度</li> </ul>
特記事項 (改善指示・法令違反行為等の有無)	本業務において、業務に係る法令違反行為はなかった。また、重大な事故発生や著しい業務の質の低下など、業務の適正かつ確実な実施を確保するために、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律第26条における報告の徴収等及び同法第27条における指示等が必要な状況はなかった。

## 評価

### 1. 事業の質に関する評価

本業務においては、「H28-31 国営讃岐まんのう公園運営維持管理業務民間競争入札実施要項」(以下「実施要項」という。)により、サービスの質として、「包括的な質」と「個別業務の質」を設定しているところである。

このサービスの質について達成状況を確認するため、実施要項に記載された方法により実施したモニタリング調査の結果等について報告する。

#### (1) 包括的な質

##### 1) 公園利用者数の確保

本公園の年間及び四半期ごとの公園利用者数

##### ア 達成すべき質

・公園利用者数：年間 443,327 人以上

第1四半期 130,851 人以上、第2四半期 71,191 人以上

第3四半期 171,870 人以上、第4四半期 69,415 人以上

## イ 結果

- ・平成 28 年度の利用者は年間 454 千人となり、達成すべき質は確保された。

また、その内訳は、第 1 四半期 120 千人、第 2 四半期 65 千人となっており、達成すべき質が確保されなかったため、国からは文書により業務改善を指示した。受注者が要因分析を行った結果、ゴールデンウィーク等の悪天候等を要因として挙げている。以上の要因から達成すべき質を確保するための改善策として、利用サービスの向上として新たに「Instagram」の導入や「樹木の移植による花畑の景観改善」などを実施した結果、第 3～第 4 四半期では達成すべき質を確保し、年間での達成すべき質が確保された。

- ・平成 29 年度の利用者は年間 441 千人となり、達成すべき質は確保されなかった。

その内、第 2 四半期 68 千人、第 3 四半期 164 千人となっており、達成すべき質が確保されなかった。受注者が要因分析を行った結果、9 月、10 月に集客の見込まれる日曜日に台風が襲来し 2 日間臨時閉園となり、この両日は過去 5 年間の平均で合わせて 9 千人の利用が見込まれていたことを挙げている。これらの要因を鑑みると、年間数値は達成すべき質を若干下回っているものの同程度の質であると評価できる。

しかしながら、数値は下回っていたため、国からは文書により業務改善を指示した。対応策として、ニホンズイセンエリアの拡大やアイスチューリップの導入などの花修景の強化、例年実施しているバレンタイン花火を四国初の色の变化するスライド打ち上げ花火とするなどを実施した結果、第 4 四半期では 74 千人で達成すべき質が確保された。

表 1 公園利用者数

達成すべき質	平成 28 年度実績	平成 29 年度実績
年間 443,327 人以上	453,593 人	440,589 人
第 1 四半期 130,851 人以上	119,872 人	134,417 人
第 2 四半期 71,191 人以上	65,384 人	67,742 人
第 3 四半期 171,870 人以上	186,755 人	164,374 人
第 4 四半期 69,415 人以上	81,582 人	74,056 人

## 2) 利用者満足度の向上

年間及び四半期ごとの公園の運営に関する利用者の「非常に満足」の回答比率

### ア 達成すべき質

- ・利用者の「非常に満足」の回答比率：年間 48.4%以上

第1四半期 50.7%以上、第2四半期 44.6%以上、  
第3四半期 64.5%以上、第4四半期 33.6%以上

### イ 結果

- ・平成28年度は、「非常に満足」の回答比率が年間で52.3%となり、達成すべき質は確保された。

また、その内訳は、第1四半期48.9%、第2四半期42.9%、第3四半期60.6%、第4四半期47.4%となっており、第1四半期から第3四半期の全てで達成すべき質が確保されなかったため、国からは文書により業務改善を指示した。受注者が要因分析を行った結果、悪天候による花の開花時期の遅れや芝生のぬかるみの拡大を要因として挙げている。以上の要因から達成すべき質を満足するための改善策として、「樹木の移植による花畑の景観改善」などを実施した結果、第4四半期は確保された。

- ・平成29年度は、「非常に満足」の回答比率が年間で53.4%となり、達成すべき質は確保された。

また、その内訳は、第1四半期60.9%、第2四半期50.2%、第3四半期70.9%、第4四半期39.4%となっており、第1四半期から第4四半期の全てで達成すべき質が確保された。

表2 年間及び四半期ごとの公園の運営に関する利用者の「非常に満足」の回答比率

達成すべき質	平成28年度実績	平成29年度実績
年間 48.4%以上	52.3%	53.4%
第1四半期 50.7%以上	48.9%	60.9%
第2四半期 44.6%以上	42.9%	50.2%
第3四半期 64.5%以上	60.6%	70.9%
第4四半期 33.6%以上	47.4%	39.4%

## 3) 公園特性を生かした植物管理

年間及び四半期ごとの季節を彩る花の演出に関する「非常に満足」の回答比率

### ア 達成すべき質

季節を彩る花の演出に関する公園利用者の「非常に満足」の回答比率

: 年間を通して 45.1%以上

第 1 四半期 56.8%以上、第 2 四半期 41.5%以上、  
第 3 四半期 47.7%以上、第 4 四半期 33.1%以上

イ 結果

- ・平成 28 年度は、「非常に満足」の回答比率が年間で 45.9%となり、達成すべき質は確保された。  
また、その内訳は、第 1 四半期 51.7%、第 2 四半期 40.8%、第 3 四半期 45.6%、第 4 四半期 42.5%となっており、第 1 四半期から第 3 四半期の全てで達成すべき質が確保されなかったため、国からは文書により業務改善を指示した。受注者が要因分析を行った結果、悪天候による花の開花時期の遅れや台風による花への被害を要因として挙げている。以上の要因から達成すべき質を満足するための改善策として、「樹木の移植による花畑の景観改善」などを実施した結果、第 4 四半期は確保された。
- ・平成 29 年度は、全ての期間で達成すべき質は確保されており、年間を通じての達成すべき質は確保された。

表 3 年間及び四半期ごとの季節を彩る花の演出に関する「非常に満足」の回答比率

達成すべき質	平成 28 年度実績	平成 29 年度実績
年間 45.1%以上	45.9%	53.5%
第 1 四半期 56.8%以上	51.7%	65.1%
第 2 四半期 41.5%以上	40.8%	44.0%
第 3 四半期 47.7%以上	45.6%	79.8%
第 4 四半期 33.1%以上	42.5%	35.3%

4) 多様な利用プログラムの提供

利用プログラムの開催回数、延べ参加人数

ア 達成すべき質

- ・利用プログラムの年間開催回数：720 回以上  
延べ参加人数：18,347 人以上

イ 結果

- ・平成 28 年度は、利用プログラムの開催回数が年間で 931 回、延べ参加人数が 22,534 人と達成すべき質が確保された。
- ・平成 29 年度は、利用プログラムの開催回数が年間で 830 回、延べ参加人数が 22,349 人であり、大型イベントと連携した利用プログラムの開催などにより年間を通じての達成すべき質が確保された。

表4 利用プログラム開催回数と延べ参加人数

達成すべき質	平成 28 年度実績	平成 29 年度実績
年間開催回数：720 回以上	931 回	830 回
延べ参加人数：18,347 人以上	22,534 人	22,349 人

5) 情報受発信

マスコミによる報道件数

ア 達成すべき質

- ・マスコミの報道件数：年間 386 件以上

イ 結果

- ・平成 28 年度は、マスコミによる報道件数が年間で 489 回と達成すべき質が確保された。
- ・平成 29 年度は、マスコミによる報道件数が年間で 486 回と達成すべき質が確保された。

表5 マスコミによる報道件数

達成すべき質	平成 28 年度実績	平成 29 年度実績
年間：386 件以上	489 件	486 件

ホームページの総アクセス件数

ア 達成すべき質

- ・ホームページの総アクセス件数：年間 650,272 件以上

イ 結果

- ・平成 28 年度は、ホームページの総アクセス件数が年間で 694 千件と達成すべき質が確保された。
- ・平成 29 年度は、トップページに旬の情報を掲載するなど、利用者のニーズにマッチしたシンプルで見やすいものに改善するとともに、スマホタブレット端末からのアクセスアップを目指し「表示サイズの最適化」を図ることで、ホームページの総アクセス件数が年間で 723 千件と達成すべき質が確保された。

表6 ホームページの総アクセス件数

達成すべき質	平成 28 年度実績	平成 29 年度実績
年間：650,272 件以上	694,464 件	723,093 件

## (2) 個別業務の質

### ア 達成すべき質

以下に示す個別業務の質を確保することとしている。

#### 本業務全体のマネジメント及び企画立案業務

##### 1) マネジメント

多岐にわたる業務について適切な目標を定め、総合的な調整のもと相互連携を保ちつつ、実施の方法が決定され、さらに、これらの業務を総括し、適切な進捗管理が行われていること。

また、入園料の徴収、国庫への納入などを行うこと、その他本業務が円滑に行われるための諸業務を実施すること。

##### 2) 企画運営管理

公園利用者の満足度が高いレベルで保たれていることを目的とし、多種多様な公園利用者のニーズを適切に把握したうえで、指定された業務内容を実施し、公園利用者への適切な指導・サービス、利用促進のための行催事、公園ボランティアとの良好な連携に向けた支援・調整を行うとともに、常時適切な広報、情報発信を行い認知度を向上すること。

#### 施設・設備維持管理業務

##### 1) 維持修繕・保守点検

建物、園路広場、遊具、電気設備、汚水・排水施設等の性能が常時適切な状態で保たれているとともに、公園利用者の安全が確保されていることを目的とし、指定された業務内容を実施し、建物、園路広場、遊具等の機能及び劣化の状態を調査するとともに、異常又は劣化がある場合は、必要に応じ対応措置が判断・実行されていること。

##### 2) 清掃

快適な公園環境が保たれていることを目的とし、指定された業務内容を実施し、施設内外の汚れを除去し、又は汚れを予防すること。

#### 植物管理業務

本公園の意義や役割、機能を踏まえた演出を目的とし、公園全体の利用状況、景観、季節、及び生物の生育環境などに応じ、自生植物や園芸植物等の特性にあった年間管理計画を作成し、植物が常に良好な状態にあること。

#### 収益施設等運営業務

公園利用者へのサービス向上を目的とし、公園管理の包括的・統一的な管理のもと、公園運営維持管理業務との連携調整を図りながら、公園利用者の利便性が高まり、安全・快適かつ清潔な環境が保たれていること。また、自主事業を行う場合は、公園の利便性や魅力をより一層高めるよう適切に行うこと。

## イ 結果

個別業務の質に関する履行確認は、実施要項等に定められたモニタリング方法(管理月報等の確認)によって、運営維持管理業者からの提案事業を含めて、調査職員が書面及び現地立ち会いにより実施している。平成 29 年 12 月末時点で、受託事業者から調査職員に対して適切に管理月報等が提出されており、調査職員により個別業務の質が確保されていることを確認した。

### (3) 受託事業者からの改善提案による実施事項

受託事業者からは、企画提案時及び業務を履行するなかで、以下のようなサービス向上のための提案が出されており、これらの提案については、毎月開催される連絡調整会議(調査職員と受託事業者との定例の意見交換の場)等で調整を行い実施している。

#### 実施状況

##### 提案・実施例(平成 29 年度)

#### 1. 【花修景】紅葉する草「コキア」の大規模修景

##### 実施例

	<p>コキアの大規模修景</p> <p>紅葉する草「コキア」を竜頭の丘に展開し紅葉風景を演出した。コキアを使用したイベント(コキアのほうきづくり)も開催した。</p> <p>期間：平成 29 年 10 月上旬～10 月下旬(紅葉見頃時期)</p> <p>期間中入園者数：36,160 人(10 月)</p>
-------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### 2. 【利用促進】冬季イルミネーションイベントの開催

##### 実施例

	<p>ウインターファンタジー</p> <p>「ハナ ミドリ」をテーマに冬のイルミネーションを実施した。総面積 3 万 m<sup>2</sup> のグランドイルミネーションや昇竜の滝のライトアップを実施した。</p> <p>期間：平成 29 年 11 月 18 日～平成 30 年 1 月 3 日</p> <p>期間中夜間入園者数：9,865 人</p>
-------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 3. 【利用促進】あじさいライトアップの立ち上げ・運営

#### 実施例



#### あじさい苑のライトアップ

新たに「あじさいまつり」期間中の土・日曜に夜間開園し、あじさいのライトアップを実施した。

期間：平成 29 年 6 月 10 日～7 月 2 日

期間中夜間入園者数：1,871 人

### 4. 【利用促進】「アウトドアフェスティバル」の開催

#### 実施例



#### アウトドアフェスティバル

テントの張り方講座、アウトドアクッキングなど様々な体験イベントをアウトドア用品メーカーと連携し実施した

期間：平成 29 年 10 月 14 日～15 日

期間中入園者数：3,372 人

### 5. 【利用促進】全国リレーオリエンテーリング競技大会の誘致・開催

#### 実施例



#### 全国リレーオリエンテーリング競技大会

(公社)オリエンテーリング協会との連携により全日本リレーオリエンテーリング競技大会を新たに誘致し実施した。

期間：平成 29 年 12 月 3 日

競技参加人数：461 人

6. 【地域連携】地元高等学校との連携  
実施例



イルミネーションデザイン

冬季のイルミネーションにおいて地元高等学校との連携により高校生の考案したデザインを採用した。

期間：平成 29 年 11 月 18 日～平成 30 年 1 月 3 日

期間中夜間入園者数：9,865 人



書道パフォーマンス

地元高等学校との連携により書道パフォーマンスのイベントを実施した。

期間：平成 29 年 12 月 2 日

期間中入園者数：5,953 人

7. 【地域連携】第 41 回全国育樹祭との連携  
実施例

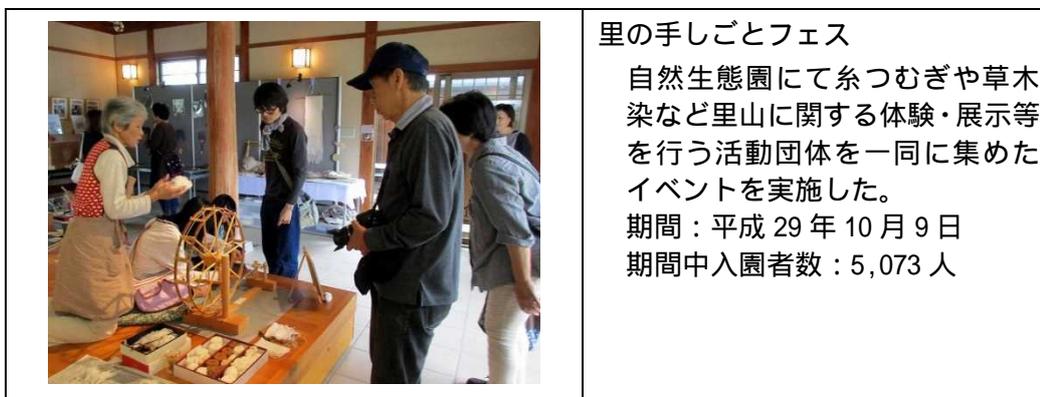


香川県との相互 P R

近隣の県立満濃池森林公園で開催された第 41 回全国育樹祭開催にあたり、香川県との相互 P R を実施した。開催日には式典会場で当公園の P R 活動を実施した。

期間：平成 29 年 11 月 19 日

8.【地域連携】「里の手しごとフェス」の開催  
実施例



里の手しごとフェス

自然生態園にて糸つむぎや草木染など里山に関する体験・展示等を行う活動団体を一同に集めたイベントを実施した。

期間：平成 29 年 10 月 9 日

期間中入園者数：5,073 人

評価

改善提案により実施した各種イベント及び利用プログラムは、新聞やテレビにも数多く取り上げられ、利用者サービスの質や満足度の向上につながった。

2. 実施経費についての評価

従前経費と実施経費を比較すると、実施経費は従前経費に比べ 52,500 千円増加している。

この主な要因は、及び従前経費の供用面積が 198ha に対し実施経費の供用面積が 350ha と 152ha 増加したことによるものである。

よって、実施経費について、平成 24 年度時点の供用面積 198ha（従前の面積）へ換算したところ、平成 24 年度の経費が 363,600 千円に対し、平成 28 年度の経費が 235,394 千円となり、128,206 千円（35%）の経費削減が図られたと評価できる。

なお、上記に加え労務単価も上昇しており、実際にこれ以上の経費削減が図られている。

項目	金額	増減要因の分析等を反映した金額
従前経費 (税抜)(A)	363,600,000 円 (平成 24 年度)	363,600,000 円 (平成 24 年度)
実施経費 (税抜)(B)	3 年 10 ヶ月：1,625,000,000 円 平成 28 年度：416,100,000 円 平成 29 年度：417,700,000 円 平成 30 年度：418,700,000 円 平成 31 年度：372,500,000 円	平成 24 年度の供用面積に換算した 平成 28 年度の実施経費： 235,393,714 円  < 供用面積 > 平成 24 年度：198.0ha 平成 28 年度：350.0ha
削減額 (C) = (A) - (B)	< 平成 28 年度との比較 > 52,500,000 円	< 平成 28 年度との比較 > 128,206,286 円
削減率 (C / A × 100)	< 平成 28 年度との比較 > 14.4%	< 平成 28 年度との比較 > 35.3%

3. その他（特記事項に係る経緯等）  
改善指示・法令違反行為はなかった。

#### 4. 評価委員会等からの評価

平成 30 年 4 月に、四国地方整備局総合評価委員会有識者委員に本業務の実施状況を説明し、引き続き新プロセスによる市場化テストを継続することが妥当とされた。

#### 5. 評価のまとめ

##### （1）評価の総括

包括的な質については、天候不順等により達成すべき質が確保できなかった四半期もあったものの、受託事業者は実施要項に基づき業務改善計画書を提出し、適切に業務を実施して年間の達成すべき質を確保するなど、包括的な質は概ね達成されている。

また、毎月開催する連絡会議の場で調査職員と調整しつつ各種改善を行うことにより、平成 29 年度においては、利用者満足度において前年度を上回るなど、受託事業者のノウハウを活かしたサービスの提供等にも努めており、サービス水準の向上につながっていると評価できる。

特に、閑散期となる冬季のイベント「ウインターファンタジー」においては地元高校生とのコラボレーションによるイルミネーションの実施や、あじさい園の夜間ライトアップなど新規イベントを積極的に導入し、新たなニーズの発掘に取り組み、当該行催事期間中の来園者の満足度向上に寄与し、国営讃岐まんのう公園の魅力を一層高めた点などが評価できる。

広報においても、地元記者クラブへの積極的な投げ込みや内覧会の開催による事前の情報提供など広報戦略の改善により、集客効果を上げているとともに、ホームページの改良や SNS を活用した情報発信を行うことで利用促進に取り組んでいるところも評価できる。

##### （2）今後の方針

本業務において達成すべき質は概ね達成されており、業務に係る法令違反や競争の導入による公共サービスの改革に関する法律第 27 条に基づく業務改善指示が必要とされる状況はなかった。一方でより民間事業者の参入を促進し競争性を高めるよう検討を続ける必要があることから、次期業務においても、「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針（平成 26 年 3 月 19 日官民競争入札等監視委員会）」に基づき、引き続き新プロセスでの市場化テストを実施したい。

なお、次期業務の実施に当たっては、本業務の実施結果や、他公園における運営維持管理業務の実施状況等を踏まえ、国営公園の管理の質の向上及び一層の民間事業者の参入の促進等のため、下記の改善を図る予定である。

- 1．入札参加者の募集に関する改善
  - ・入札公告から申請書類等の受付期限までの期間延長
  - ・入札参加が期待される関係団体等への周知
  - ・包括的な質の設定に関する改善
  - ・収益施設等設置管理運営業務の対象拡大
- 2．配置予定者の業務実績等に関する要件の緩和
  - ・開園期間中の業務責任者の実施体制を緩和
  - ・企業および配置予定者の業務実績要件の緩和